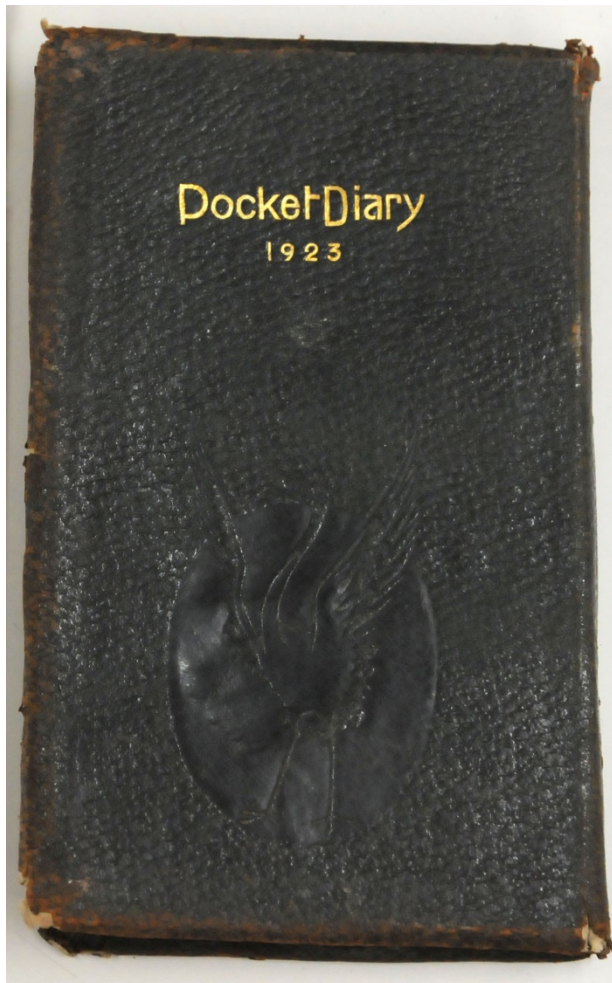




伊藤音次郎日記

1923(大正 12)年

文字データ作成:一般財団法人 日本航空協会 2018(平成 30)年 6 月

* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼0ページ▲▼

大正十二年

▲▼1ページ▲▼ 前年ヨリ繰越事項

陸軍注文取ルノコト

工場整理

大会社設立

▲▼4ページ▲▼ 大正12(1923)年1月1日(月)

天気 晴風強シ寒シ

六時起床 四方拝 神々、山縣等ニ参拝 本年ノ幸福ヲ祈リ朝食 小供等ト共ニ祝フ
小間ヲ利用シテ昨年末数日間ノ日記ヲ記入ス 廻禮ニ來ルモノシキリ 中止シテ禮ヲ
受ケ九時仕事着ト着替 中島式ホットエヤー試験ヲ見ニ出ル 發動機力ハリ悪ルク、ア
ツイ湯ト入レ替ヘテスグカル 一回試験飛行後久保田同乗出發 上昇オソク千四百
米突ニテ下降ス 予定ノ三千米突ニ達セザリシモ無事終ル 大蔵操縦 着陸モウマカッ
タ 操縦生ノ方ハ之レデ安心シタ

飛行部及稲垣佐藤君等ト晝食 大蔵安岡久保田ニ出張後ノ注意ヲ與ヘル
夜朝日安藤氏ノ招待ニ一直ニ行ク 余興数番面白カッタ

九時ニテ白戸ト共ニ帰ル。入床後明日杉本加藤ニ與ヘル命令及注意ヲ書ク

▲▼5ページ▲▼ 大正12(1923)年1月2日(火)

天気 晴風

六時起床 朝食後杉本加藤へ昨夜ノ手紙ヲ渡シ七時五十分ニテ上京 林亭ニテ稲垣
君ニ會ヒ工場ノコト二三話シ中ニ次ギノ列車ニテ白戸來 小型自動車ヲ頼ミ児玉少佐
ニ行ク 先ギニ米倉課長ヲ訪問 児玉少佐不在中 帰ッテ待ッテ晝食ノ馳走アリ 話ニ
花ガ咲キ五時頃辞ス 何處モ行ケナクナッタノデスグ帰ルコトトシ友喜三三人デ立寄ル
ヨシ病氣ニテ帰ル處デアッタ 十時ニテ帰宅ス 稲垣泊ル

▲▼6ページ▲▼ 大正12(1923)年1月3日(水)

天気 晴

風アレドモ練習スベク準備ス ホットエヤー試験 飛機坂坪中山朝日一號マグネー取替
ニ終日カ、リツヒニ運轉スラ出來ズ

發動機工一名漸ク午後ヨリ仕事ヲ初メル

終日在所

午後加藤佐野ト工場統一ニツキ協議シ夜暮ヲ囲ミ花ヲ引イテ床ニツク

▲▼7ページ▲▼ 大正12(1923)年1月4日(木)

天気 晴

大坂兄中山へ手紙書キ出ス

本日上京ノ予定ニテ仕度セシモ發動機思ワシカラズ 中止シテ川辺、佐藤君ヲ上京セ
シム

イスパノ廻ラズ、朝日一号初メ大蔵ノ取扱ヒ上不良 杉本代テヨクナル ガソリン無ク
中止止ル ガソリンヲ入レホットエヤーヲ取付ケル 發動機調子悪シクツイニ廻ラズ。原
因原氏ハマグネートト云フ 分解検査ノ爲メ夜下ス。佐野早川氏ヘツカヒニヤル

▲▼8ページ▲▼ 大正12(1923)年1月5日(金)

天気 晴風ナシ

終日在所 イスパノト朝日一號發動機悪シク困難ス 一號分夕方ヨリ分解ヲ初ム
三時半ヨリ稲垣送別会ノ爲メ所長以上上京 佐野及飛行部員ノミ夜業ノ爲メ残ス
佐藤氏ニ金ノ件依頼ス 秋田氏モ來 盛会デアッタ

▲▼9ページ▲▼ 大正12(1923)年1月6日(土)

天気 晴風ナシ

イスパノ漸ク廻ッタガ廻轉宜シカラズ。朝日一號晝頃非常ニヨクナル 食後廻スト又悪
シクプラグ全部取替漸クヨクナル 杉本一回大蔵一回飛行 永淵氏立會ヒ拡張ヲ終ル
ニ式ロンゲロン、スパー検査終ル

▲▼10ページ▲▼ 大正12(1923)年1月7日(日)

天気 晴

一號機ノ整備ニ全力ヲツクス 夕方四十分連續飛行シ後チ下志津へ飛ブ

▲▼11ページ▲▼ 大正12(1923)年1月8日(月)

天気 晴

三時迄眠レズ四時起床 食時(ママ) 杉本ヲ待チ六時自動車來 二人下志津ニ行ク
準備ホヰナル頃八時頃白戸來 ソレヨリ水ポンプヲ付替ガソリンオイルヲ入レプラグヲ
取替ナドシテ十一時漸ク成ル 大蔵機後ノツモリナリシモアマリ待遠イノデ十一時出
発セシム 小出十一時十分發 電報ヲ打チ汽車ニテ歸ル 仕度後上京 佐藤へ金相談
後チ白戸ヨリ朝日へ來テ呉レトノコトニ社ニ行ク 七時過ギ迄居ル 二機一時半三島着
無事ノ由 後雨降リ三島泊リトノコト 白戸三島ニ行クコトニス

▲▼12ページ▲▼ 大正12(1923)年1月9日(火)

天気 晴夜雪

朝早ク白戸ヘイスパノ準備ト乗池君飛行場見ニ行クコトノ手紙ヲ持參セシメ九時二十
七分ニテ安岡藤原ト共ニ上京 車中乗池ト會フ 乗池安岡飛行場見ニヤル 自分佐藤
桜井大川斎藤協会ニ□株ノコト航調ノコトノ爲メニ立寄り鳥飼ニテ晝食後安岡ニ會ヒ
競馬ノ柵其マヽニテ差支ナキコトヲ聞キ局ニ行ク 小出墜落負傷ノ來電アリ
児玉少佐ト相談ノ上千葉ノイスパノ大坂へ明朝急行セシムベク千葉へ電話スル ダメト
ノコト 乗池ノモ間ニ合ヌ由 朝日ニ行キ再ビ白戸ニ電話スル 朝日ニテ七時迄打合セ
其他後チ佐藤ニ立寄り明日秋田ト會合ノコトヲ頼ミ九時ニテ歸ル
夜業早川氏一生懸命ニテ十二時過ギ 一時床ニ入ル 早川氏宅ニ泊ル 両国出ル頃ヨ
リ雪トナル

▲▼13ページ▲▼ 大正12(1923)年1月10日(水)

天気 晴

雪ノアシタノ晴レ空アザヤカデアッタ
今日大坂ニ出發ノ予定ノ處白戸三島ヨリノ歸リオクレ鳥飼ニテ泊ル 十一時頃白戸漸
ク歸ル。小出混(ママ)睡状態ナリト

▲▼14ページ▲▼ 大正12(1923)年1月11日(木)

天気 晴

キリ深ケレドモ風ナキ様子 島田來場オソク安岡ノ飛來又八時ヲ過ギ大ニ氣ヲモム
整備オクレ殿下ノ台臨ヤ演説ニテ又手間取り十時頃島田出發 安岡十一時過ギニ出
ル 晝前安岡芝浦ニ着水セリトノ報アリ 早速陸上ヨリ五六名ヲ派遣シ自分八舟ニテ
行ク 引上ゲヲ長尾ニ一任シテ歸ル 大蔵無事三方ヶ原往復 島田無事大坂着 大場
大蔵ニカワツテ三時三方出發ノ報アリ 四時四十五分日オチタレ共尚着陸ニサシツカエ

ナキ時ニ低空ニテ格納庫上ニ來ル 皆觀呼セシモ及バズキリノカナタニ幾旋回ノ後洲崎
遊廊向フニテ着陸 電柱ニ打ツケ機体大破 幸ニ貨物ハ無事 自分ハ白戸妻君ト共ニ大
場ノ負傷手當ヲ以ヒ入院ヲナシ九時頃白戸ト共ニ夕食ヲ初メル 今日モ大坂ニ行ケズ
アトノ打合セノ爲メ帰津ス 其前佐藤ニ電話スレバ明日ノ千円銀行出來ストノコト 大
ニフンガイセシモ及バズ終列車ニテ帰宅 十時頃佐野、四十川ヲ起シ十七日迄ノ打合セ
ヲナシ二時帰宅 床ニ入ル

▲▼15ページ▲▼ 大正12(1923)年1月12日(金)

天気 晴

七時佐野來 本日期日トノコトニスグ七時五十分ニテ上京 秋田ニ行キ千円借用シ宮
本ニテ殘金受取り二千四百円トシテ入金ス
白戸ト電話ニテ打合セ局ニ行キ兒玉少佐ニ會ヒ十七日ノ飛行ノ打合セヲナシ、白戸先
キニ歸リ自分予定表ヲ作製ス 四時知覽ト福田少佐ニ面會 懇談ノ後チ明野ヶ原ノ甲
式ニ台注文サレ大ニ嬉(ママ)ビイサンデ高山等ト引上げ松本楼ニテ祝杯ヲ上ゲル 鳥
飼、稲垣モ來ル 後チ朝日ニ行キ安藤氏ニ會ヒ予定表ヲ出ス
白戸ヨリ負傷者ニ対スル問題出デシモ第三者ノ意見ニマカセルコトナリモノ分レトナル
八時半スグ出發ス。秋田ノ手形鳥飼ニ依頼ス
本日ハ斎藤、桜井ノ申込書ヲ取り大キニヨイ日デアッタ

▲▼16ページ▲▼ 大正12(1923)年1月13日(土)

天気 晴

九時デ大坂着 兄不在 練兵場ニ行キ帳簿其他ノ検査ヲナシ、土産ノスシデ晝食ヲ共
ニシ工場ニ行キテ兄ニ會ヒ金ノコトヲ相談 兎ニ角竹島ニナキツク外アルマイトノコト 明
日ノ野田氏ガ來テ吳レトノコトニ行キテ十七日以後ノ予定ヲ話シ帰途西店ニ立寄り昨
日ノ喜ビヲ話シ佐田井上両氏宛禮状ヲ出ス
工場ニツキ種々話シ朝日トノコトニツキ氏ノ意見モ大分聞カサレタ
明日金ノコトモアラカジメ話シタ處ヤ、有望ラシイノデ大ニ意ヲツヨクシタ

▲▼17ページ▲▼ 西曆1823(1823)年1月14日(火)

天気 晴

八時起床 入浴朝食後竹島ニ一應報告ニ行キ、スグ佐渡島ニ行ク 朝日トノ契約書ヲ
見セ後チ金ノ話シニ入ル ツレヨ竹島ニ誦シ
晝操縦士等ト食事ヲ共ニスル約束ニテ皆來 西店主人ニ照(ママ)介シ樂天食堂ニ行ク

堺ヨリ久保田、張來 兄モ來 三時頃迄會食後西店ニ行ク 金ノ件竹島ニ話シテ見ヨ
トノコトニ竹島ニ行ク 行キニクカッタガ止ムヲ得ズ 處ガ意外ナ立腹デトテモノニナ
ラナイ 自分デハ意外デアッタガ六理ノナイコトバカリデスグ西店ニ帰ッテ話シタガ結
局一文ニモナラズ七時過ギ帰宅 兄ト想(ママ)談 兄引受ケテ呉レタノデ九時半ニテ帰
京スルコトス

今月ウマク切ヌケラレルヤスコブル、キケン ヨホド奮勵シナクテハナルマイ

▲▼18ページ▲▼ 大正12(1923)年1月15日(月)

天気 雨

十一時新橋下車 有楽町ヨリ鳥飼ニ行ク 晝食 朝日ニ電話シタガ白戸來ラズトノコ
ト 秋田十七日手スキトノコトヲ電話ニテ聞キ佐藤ニ立寄り十七日會合ヲキメテ帰ル
イスパノマダ廻ラヌトノコト 直チニ飛行部員ノ招集ヲナシ廻轉セシム ガソリンパイプ
細イコトヲ確カメ得ル 他ニ機ハマダ、出來ソウニナカッタ
夕食ノ時平次郎ヲ呼び共ニ食事ス

福田少佐ヨリ注文中止ノ手紙昨日來タトノコト スグ知覽ニ明日來ル様打電ス
イスパノ廻ラス何ンモ出來ズ 工場又然シ 佐野ノ六(ママ)能ニモホト、アキレタ

▲▼19ページ▲▼ 大正12(1923)年1月16日(火)

天気 晴風

北西ノ風ツヨシ 八時十分前起床 工事ノ夢バカリ見テ頭ハ重カッタ

朝夕食後工場ニ行キドレモ今日ノ汐デ飛ベソウニモナイノデ白戸へ行ク。幸ヒ居タノデ
乗池機ヲ頼ムコトニシタガ下志津ヘヤルコトニ打合セテ帰ル 後チ自動車ヲヤッタガ同機
モ飛ベナカッタ 片岡機ニ全力ヲソ、グコトス

午後杉本、佐野ヲ呼び仕事ノコトヲヨク云ヒツケル 夕方額縁材ヲ見ニ千葉ノ小川ニ行
キ株ノコトヲモタノム 金ノコトモ話シテ居ク

夜片岡機ノポンプ取付補助タンク取付ヲサセル

三号機マイバツハノマグネトヲ付ケル

知覽來 狛田少佐ノ件ヲタノム

川辺三松ノコトニ上京セシム 兄ヨリ金來ラズ 明日ゼヒ送ルトノ電アリ

▲▼20ページ▲▼ 大正12(1923)年1月17日(水)

天気 晴

片岡機下志津ニ送ル

自分上京 局其他ノ用件ヲスマセ夜七時帰宅 佐野ニ立寄り打合せヲナシ安岡、發動機ニ外一名ヲ連レテ十時五十分デ四ッ街道ニ行キ泊ル 十二時

◆▼21ページ◆▼ 大正12(1923)年1月18日(木)

天気 晴

午前五時山崎外一名先キニ起シ六時自分等起床 湯ニ行ク お湯ハ先發ノモノスデニワカセテアツタ 寒冷ノ爲メ初動困難 九時漸ク出發ス 一度帰宅 後チ上京 佐藤マダ帰ラズ

稲垣午前十時香取丸ニテ出帆 川辺、外数名見送りセシム

鳥飼ニテ知覧ト會ヒ四時半訪問 不在 帰宅ヲ待ツコト往來ニテ一時間 漸ク帰りテ又出カケル迄三十分程マタサレタ イクスニテ夕食後友喜ニ行ク 十二時過ギ帰ル 自分ハ泊ル

片岡三方ヶ原ニ泊ル

◆▼22ページ◆▼ 大正12(1923)年1月19日(金)

天気 晴

九時朝食後局ニ行ク 児玉少佐休ミトノコトニ課ニテ少時話シテ帰ル

夕方社ニテ永崎

白戸、久松、徳永氏ト鶴見ノ飛行場ヲ見ニ行ク 白戸モ行キニハ望ミテ居タガ帰りニハサホドデナクナツタ 思ツタ様ニヨクナカツタ

四時社ニ帰り永崎安藤氏等ト會議ヲ開ク 七時頃終リ今清ニテ禿氏ニ會ヒ九時ニテ帰ル

◆▼23ページ◆▼ 大正12(1923)年1月20日(土)

天気 晴

九時午前工場ノ及日記其他 イスパノ午後試験飛行 正午上京 知覧來ラズ 局ニ行キ金及航空会油ノ件ヲ依頼ス 少時社ニ行ク 白戸上京 電話アリ 秋田不在 名刺ニ金及菱伊氏ノ件書キ置イテ帰ル

六時過ギ杉本外來 鳥飼ニテ打連レ松本ニ行ク 七時安藤氏オソクナツタガ盛ンデアツタ 十一時ニテ帰ル

川辺來宅 三松ノ話ナドシテ二時床ニ入ル

當間氏ニ會フ 久シ振リデアツタガ好意アル言葉ヲ聞カサレタ

▲▼24ページ▲▼ 大正12(1923)年1月21日(日)

天気 晴

八時半ヤット起床 工場二行ク 午前中東西航空会ノ仕事ヲナシ大蔵ト晝食ヲ共ニス
二時頃上京スベク仕度中高山、菅原両氏來 共ニ稲毛ニ遊び自分ハ一足先キニ失礼シ
テ上京 鳥飼ニ泊ル 大蔵格納庫ニ泊ル
杉本イスパノ数回飛行

(1月22日〜28日は記載無し)

▲▼32ページ▲▼ 大正12(1923)年1月29日(月)

天気 晴

工場ノ用件ヲ見九時ニテ上京 宮本組二行ク 千八百円ノ口千三百円ヨリ呉レズア
ト四日ニ呉レル由 鳥飼ヘ依頼ス 局二行ク 児玉少佐不在 早川氏ニ會フ。謝君父子
ト會食 奉天飛行機ニツキ相談 見積書ヲ作り渡ス
知覧ニ會フ 陸軍ノ事依頼ス

秋田ニテ菱伊ト會ヒ同道シテ佐藤二行キ紹介シテ後夕食ヲ馳走シ分レ友喜二行ク 晝
頃ヨリ氣持チ悪シク寒氣ハナハダシク今夜ノ出發ヲアヤブンダガ酒デ少シ熱ツクナツタ
ノデ九時半ニノル

三島立寄りハ帰りニシタ

▲▼33ページ▲▼ 大正12(1923)年1月30日(火)

天気 晴

十一時着 氣持チガ悪イノトクタブレタノデスグ寢ルツモリデ兎ニ角練習場ニ行ク 吉
田氏來 松ノ家ニ行ク 五時頃迫同氏ト話シテ氏京都ニ帰ル。湯ニ入リスグ床ニ入ル

▲▼34ページ▲▼ 大正12(1923)年1月31日(水)

天気 晴

杉本出發 片岡來今日ハ定期飛行開始以來ノ上成績デアッタ
夕方帰宅

▲▼35ページ▲▼ 2月

仕事取ルコトニ全力ヲソ、グコト
株募集

▲▼36ページ▲▼ 大正12(1923)年2月1日(木)

天気 晴

朝竹島ニ挨拶ニ行キ中山氏ヲ訪問會見 工場ニ行ク 南部平松ウカヒ、大蔵、乗池來
同道シテ心齋橋通りヲ散歩シクツヲ求メ乗池挨拶ノ爲メ杜ヘ同道 南部帰京 平松帰
郷後玉井ヘヤルコトニス
四時頃迄社ニテ野田、長舉両氏ト會見 將來繼續スルコトニツキ進言ス
二人ヲ連レテ敷島クラブヲ見夕食後九時帰宅

▲▼37ページ▲▼ 大正12(1923)年2月2日(金)

天気 晴

朝大谷ト同道格納庫ニ行キ各給料ヲ支拂
十一時ヨリ西店ニ行 不在 日本亜鉛渡ニテ會フ ツヒ基準ノコトデコボシタコトガ氣ニ
サワツタト見エ馬鹿ニ氣(マ)嫌ヲ悪クシテ居タ 兎ニ角約束ガアルノデ明朝ヲ約シテ分
レル
十二時半ヨリ社ニ行ク 野田氏都合ニテ行ケズ長舉氏ト同道 四時頃迄遊ブ 今滑走
ダケヤツタトノコト 阪東氏局ノ人タチト神戸ニ歸タ由
朝ノ飛行機ノ件ニツキ新機ヲ作ルコトヲ進メル 且ツ夜其事ニツキ児玉少佐ヘ打電シタ

▲▼42ページ▲▼ 大正12(1923)年2月7日(水)

天気 雪

早朝ヨリ数回下痢止ラズ

終日寝ル 夕方兼坂サンニ見テ貰フ 下齊(ママ)ヲノム

▲▼43ページ▲▼ 大正12(1923)年2月8日(木)

天気 曇雪

今朝カユヲ喰ヒ少シ元氣ツク

終日床ニツク

▲▼44ページ▲▼ 大正12(1923)年2月9日(金)

天気 晴

午前工場ヲ見ポンプナドヒックリカエツタマニナツテ居タ 二式ロングンロコトヲ聞イタ
ラ佐野ハ分カラナカッタ 加藤ヨリ承(ママ)細ヲ聞ク

午後上京 局ニ行ク 児玉少佐ト一寸シカ會エナカッタ 朝日ニテ白戸ニ會ヒ旅費受取
ル 鳥飼ニテ知覽ニ會ヒ共ニ井上閣下ヲ訪問 一時間半バカリ會談 十時ニテ帰宅ス
本日飛行無事

▲▼45ページ▲▼ 大正12(1923)年2月10日(土)

天気 晴

午前中工場 二式ノコトヲ加藤ヨリ聞ク フライングボート佐野一向要領ヲ得ズイ
ヨ、頼ミニナラナイコトヲ感ジタ

十二時五分上京 局ニ行キ二課ニテ辻本君津田沼へ行ッタコトヲ聞ク
児玉少佐ヨリ東西航空会廻数ヲ増加スルコト 其他数件用件ヲスマセ三時半鳥飼ニ立
寄り服ノ假縫ヲナシ社ニ安藤氏ノ都合ヲ聞合セテ貰フコトヲ依頼シ、秋田ニ立寄り株
募集及金ノコト依頼打合セヲナシ、佐藤へ趣意書ヲ持参シ尚依頼シ両国へ帰り自動車
ニテ渡辺氏ヲ訪問 丁度帰ラレタ處ヲベニヤ板ノコトヲ聞キ帯鉄マダ來ナイトノコトニ佐
藤へ電話ヲカケ六時四十分ニテ帰宅 車中徳永氏ト會フ

▲▼46ページ▲▼ 大正12(1923)年2月11日(日)

天気 晴

午前大坂、中山、兄、格納庫一同へ手紙出ス 杉本ヲ呼ビ飛行部ノコトヲ話シ川辺君ト運動員ノ方ノコトヲ協議 急ガセル
オソクナッテ三時頃ヨリ佐野ニテ一時間程話シ後チ千葉ニ行キ小川へ爲替手形ノコトヲ話シ白戸ニ行ク 不在 スグ帰宅 安岡横山ヲ呼ビ高度飛行ノ件ヲクレ、意見シテヤル

◆◆47ページ◆◆ 大正12(1923)年2月12日(月)

天気 晴

午前加藤、佐野ト庶ム費引ベメニツキ自分ノ意見ヲ述ベル
午後上京 白戸ト同車 局ニ行ク 明日辻本來ルコトヲ依頼 ルノー、忠臣蔵願書提出

鳥飼朝日ニ立寄り高井氏ニ電話 婦人が出テ來タ處ヲ見ルト茅場町ニ居ルラシイ 七時二十分ニテ帰ル

朝三時半地震ガアツテカラ二時間バカリ眠レナカッタ間ニ工場経當(ママ)ニツキ大ニ考ヘテ見タ結果加藤ト佐野ト想(ママ)談シタ

◆◆48ページ◆◆ 大正12(1923)年2月13日(火)

天気 晴曇リ

朝社用仕事ノ上ニ考慮ス

十二時五分ニテ上京 秋田、桜井、大川、鳥飼ニテ知覽ト會ヒ局ニ行ク 知覽航空部ニ行ク 井上ニ會フ

夕鳥飼ニ帰ル 阪本某來 大連ヨリ飛行機ノ照介(ママ)アリタリトノコトニ話シ聞ク。井上來 山水楼ニテ夕食ヲ共ニス

◆◆49ページ◆◆ 大正12(1923)年2月14日(水)

天気 曇リ

六時起床 七時洲崎ニ行ク 大場九時半カ十時出發 安岡十時三十五分出發

二機三方ヶ原着 安岡後出發 三時五十分上野越セズ明野ヶ原着陸

大蔵ヤハリ上野ヨリ大坂へ引返ス

知覽ト夕食後伊藤高史氏訪問 帰途関根ニ寄り株ヲ頼ム 知覽明日高山所沢ヘヤルニツキ名刺ヲ持タセテヤル

▲▼50ページ▲▼ 大正12(1923)年2月15日(木)

天気 曇後雨

午前九時白戸ト會フ約束ガ車ガ違ッテ會ワズ両国ニテ會ヒ自分局ニ行キ兒玉少佐其他ノ人ニ會ヒ宮本組鳥飼ニ立寄り朝日ニ行ク 二時頃ヨリ議案七ヶ條ニツキ安藤村山岡氏ト想(ママ)談 決定シテ三時半終ル

安岡ペラ破損ノ爲メ飛行出來ズ 大蔵三方ヶ原着 後千浜松樂器ノペラヲ飛行機ニテ輸送セシモ雨ノ爲メ引返ス

安岡ヨウ永崎大尉ニペラノ件依頼ス

七時二十分帰ル サルムソン兒玉少佐ヨリ出スカラ明(ママ 朝カ?)日ガ取ラネバ君ノ處デヤレトノコト 其コトトス

▲▼51ページ▲▼ 大正12(1923)年2月16日(金)

天気 雨

上京予定ノ處、ゲオルギーノ爲メ見積リヲ作り、尚飛行予定表ノ作製等ニテ終日ワツヒヤス

▲▼52ページ▲▼ 大正12(1923)年2月17日(土)

天気 曇リ

午前中川辺通譯ゲオルギート想(ママ)談 五千円ト予算ヲ出ス 考慮スルトノコト
午前十二時五分ニテ上京 局ニ行キサ式出ル日取リヲコト極メル 來週末トノコト

宮本組鳥飼ニ立寄り朝日ニ行 白戸今日三島ニ行ク由 安岡氣ニナッタノデ永崎氏ヘ
手紙出電話スル 七時過ぎ漸クカハル 明日大蔵飛行機ニテペラ運送 安岡三方へ來ル
由

右電話待ツ内菱伊ト話ス 秋田氏大坂へ行ッタトノコト

▲▼53ページ▲▼ 大正12(1923)年2月18日(日)

天気 晴

快晴 暖カク氣持チヨイ日デアッタ

六時半起床 朝食後佐野ト打合セヲナシ車ニテ海氣館ニ行ク 大塚氏ト会谈数刻 十
一時自動車來 津田沼ニ帰り工場ヲ案内シカーチス試飛行ヲ見晝食ヲ高山河辺ゲオ
ルギート共ニス

食後談笑 三時二十分ニテ大塚氏帰京 得處アリタリ

午後川辺通譯ニテゲオルギート商談 四千二百円ニテツヒテ手ヲ打ツ 入レ替ッテ谷
本來 株募集ノ件借入金ノ件依頼ス
長尾來 大坂ニ行クトノコト 金ノ話シトナッタガ佐野ニ聞イテモナカッタ
横山來 身ノ振り方ニツキテ
夜写真ノタマッタノヲ添付 タ方久シ振リデオソマキナガラ球根ヲウエ付ケル

▲▼54ページ▲▼ 大正12(1923)年2月19日(月)

天気 曇リ

明野へペラ持タセルベク謝九號機ニテ出發サス爲メ早朝ヨリ準備ス 四時二十分出發ス
阿部大尉森川氏辻本君來場 カーチス新機ノ試飛行ヲ見テ 帰ル晝食ヲ共ニス 余一
時五十分ニテ上京 鳥飼ニテ坂本氏ト会见 飛行機ノ見積リヲ頼マレタガ速度、馬力、
乗員数ガ分ラナイノデソレヲ聞イテ貰フ様ニ話シタ
朝日ニ行ク 謝浜松附近平田村ニ不時着陸シタ由 電話ニテ謝ペラヲ持チ明野へ行ク
様ニ命ジ飛行機ハ萩原外一名出張取方付ル様依頼ス

▲▼55ページ▲▼ 大正12(1923)年2月20日(火)

天気 雨

九時廿八分ニテ上京 亀沢ニ寄ル 不在 斎藤ニテ書類書替ヲ貰フ 局ニ行キ朝日新聞
ニテ白戸ヲ待ツ 整備費受取ル
謝十一時ノ列車ニテ明野へ出發セシ由
飛行機永淵氏不在ノ爲メ本日尚片付終ラズ、永淵氏へ依頼ノ電報ヲ打ツ
後チ坂本氏ニ招カレ築地ノ春喜多川ト云フ待合ラシイニ行ク 竹内外二名ノ人ニ照(マ
マ)介サレタ
竹内氏ハイヤ二人ヲオダテ且ツ君ナラ五万デモ百万デモイツデモ出ス人ガアルナド
馬鹿々々シイ事ヲ平氣デ云ツテ居タ 大分酔ッテモ居タ 一時間程デ失敬ス

▲▼64ページ▲▼ 3月

二月廿二日島田行違不明ヨリ三月十日迄島田ノコトト金策トニ寸暇ナク身体又心配
ノ余リカ輕キ神經衰弱ノ気味アリ 日記又記入スルニシノビズ中止ス

▲▼75ページ▲▼ 大正12(1923)年3月11日(日)

天気 曇リ

七時半起床 八時朝食後八時出ル 九時児玉少佐宅ニ着 安藤氏電話スル 十時過ぎ來 十二時迄会談 補助ノ事器材ノコトヤリ方ノコト等ニツキ協議ス 辭シテ佐々木デ分レ自分ハ神田佐藤ニ立寄り洲崎ヘ電話ヲカケ状況ヲ聞キ命令ヲナシ二時半ニ帰宅 工場ヲ見ル ホシキ組立デニ注意ヲ與テ帰宅 夕食佐野ト共ニス 安岡・杉本來 横山、南部ノ件ヲ取極メル 九時半床ニ入ル

▲▼76ページ▲▼ 大正12(1923)年3月12日(月)

天気 雨

自分ノカワリ佐野上京セシム

午前中静養 午後東西航空会第二ノ計畫案二種ヲ作ル
夜八時頃スサキ格納庫焼ケタトノ電アリ

▲▼77ページ▲▼ 大正12(1923)年3月13日(火)

天気 曇リ

四時半起床 一番ニテ上京 洲崎ノ焼アトヲ見ル 小栗ノ格納庫ハ羽目ヲ焼イタダケデ大ニ安心シタ 佐藤、鳥飼局ニ行ク 児玉少佐ト善後策ヲ講ズ 安藤氏モ來ルトノコトニ待ツ 白戸モ來 協議ノ上中島式ニ台ホ式二百ニ台ヲ出シテ貰フコトニナリ手續キヲ終ル

秋田ニ立寄り主人同道洲崎ニ行キ白戸ト會ヒ安君トノ交渉ヲナシ社ニ帰り明日ノ飛行延期ノ打合セヲシテ曙ニテ佐野谷本ト會フ 一両日中待ツテ呉レトノコト

▲▼94ページ▲▼ 大正12(1923)年3月30日(金)

天気 晴

終日在所 工場ヲ見ル

午後自宅ニテ静養中突然賀陽ノ宮家ヨリ今山階ノ宮ガ御出デニナルガ差支ナイカトノ御使ヒアリ 御受ケシテ御來臨ヲ待ツ 武官一名ヲ從ヘ來軍服ニテ御來場 四ツ街

道へ行クツモリノ處道ガ分ラナクナツタカラ突然寄セテ貫ツタトノ御言葉ヲ給ワリ格納庫ヨリ順次工場ヲ見此前ノ時ヨリ大變立派ニナツテ結構デストノ御言葉ガアツタ

▲▼95ページ▲▼ 大正12(1923)年3月31日(土)

天気 晴

終日在所

本日ハ写真部長尾雇入レノ件ニツキ矢野長尾三人ニテ協議 写真部拡張收入ヲ計ルコトトシテ雇入レルコトス

▲▼96ページ▲▼ 4月

陸軍注文ニ対スル準備

決算報告

株募集ノ件

附属事業拡張ノ件

金隔(ママ)ノ件

▲▼97ページ▲▼ 大正12(1923)年4月1日(日)

天気 晴

今日ハ信太郎ヲ連レテ上京 浅草橋ヨリ市街自動車ニテ京橋ヨリ銀座ヲ歩キ信太郎其他小供服ナドヲ求メライオンニテ晝食ヲ取り鳥飼氏ヘ電話ヲスル 坂本ノ件話シアリ 尚友喜ノヨシヨリ電話カハリアソコニ居ラナイトノ趣キデアッタ 農商務省ノ小供展玩具展覽会ヲ見テ二時半ニテ帰宅

▲▼98ページ▲▼ 大正12(1923)年4月2日(月)

天気 晴

佐渡島ヨリ手紙來 イクラデモ出來タダケ送レトノコト

▲▼101ページ▲▼ 大正12(1923)年4月5日(木)

天気 晴

上京 局鳥飼ニ行ク 晝ヨシ來 山水樓ニテ晝食シツゝ話シヲ聞ク 親ノ内ニ居ルガ獨立シタク出來ナケレバ親ノ家ニ居テモイトノコト ヤツカイナコトニナツタガ當分免(ママ) 倒ヲ見テヤル外アルマイ 明日會フ約束ヲシテ分レル

▲▼102ページ▲▼ 大正12(1923)年4月6日(金)

天気 雨

朝局ニ行キ井上ニ會フ 金ノ事ヲ一寸タノミ鳥飼ニ歸リ明日井上ニ會フヲ鳥飼ニ依頼ス 以上六七日ノ午前ノ記事ナリ

終日在所 約束ニヨリ夕方ヨリ上京 両国ニテ會ヒ上野ノ丸万ニ行キ夕食ヲ共ニシ内金ト共二百十円渡ス

晝渡辺氏ト會見 明日ヨリスケッチニヤルコトニス

▲▼103ページ▲▼ 大正12(1923)年4月7日(土)

天気 晴風強

今日ハ榊談スルトノコトニ朝局ニ行キ井上ニ會フ 金ノコトヲ一寸タノミ後會フ

晝ノ約束ニテ社ニ行ク 白戸モ來 トウゝ持ッテ夜ノ八時半 漸ク社長室ニテ下村専務 長舉、安藤、久松、野田氏ト會見 過已ノ悪イ處ノミ猛列(ママ)ナコウゲキヲ受ケル内十時ニナリ終列車ニ間ニ合ワナクナルノデ其日ハ何ン等決スルコトナク歸ル 車中今日ノ話シニ対シ答辨ヲ手帳ニ記入 ツヒニ津田沼ニ及ブ

大蔵郷里飛行ノ爲本日大坂ヨリヒメジニ飛ブ 非常ナ強風ナリシ由

▲▼104ページ▲▼ 大正12(1923)年4月8日(日)

天気 晴曇後風雨

今日ハ出ナイツモリノ處朝日トノ會合ノ爲メ上京 幹部ノ人達ト會フ 何ニ方案ガアルカトノコトニナキ旨ヲ答ヘ又昨日ノ様ナコトヲ云ヒ出シタラ一議論スルツモリノ處今日ハ下村氏居ラズタダチニ社ノ案ヲ持チ出ス 今日ハ即答ヲサケタゞチニ辭シ浅草橋附近ノ旗亭ニテ白戸ト相談 兎ニ角白戸伊藤両飛行場ノ主催 朝日社ノ後援トシテヤルコト

案ハ帰ッテ作ルコトトシテ七時二十分ニテ帰ル
大蔵大坂ノ郷土飛行ノ爲メ姫路ニ行ク

天気 曇後雨晴

▲▼106ページ▲▼ 大正12(1923)年4月10日(火)

八時十四分ニテ白戸ト共ニ上京 其前床ノ中ニテ東西航空会朝日ト分立案ヲ作ル 其案ヲ児玉氏ノ意見ヲ聞クベク局ニ行ク 同氏ハ朝日直営ヲ嬉(ママ)ブ如キ口振りデアッタ アケボノニテ白戸ト相談ス 白戸ハ中止説ヲ個(ママ)持シタガ余ハ將來ノコトヲ説キ吾人ガ止メレバ必ズ他ニヤルモノノアルコトヲ説キ朝日説ニ修整ヲ加エヤルコトニ決定シ社ニ行ク 安藤、長舉、野田、久松氏ト相談 大体修整案通りニ確定ス 三時過鳥飼ニ帰リ青島氏ニ海軍ノ經過ヲ聞ク。宮本組ニ行キ金ノ話出來ズ 長尾、大坂ヨリ帰ル 伊藤西夫ヲヨリ写真用紙十折受取ル アト又十折持ッテ來ルトノコトナリシモツヒニ來ラズ 今会フ約束ノ處ツヒニ電話カ、ラズ 七時鳥飼ヲ出テ八時ニテ帰ル

▲▼107ページ▲▼ 大正12(1923)年4月11日(水)

天気 曇リ

八時十四分ニテ矢野氏ト上京 鳥飼ニ立寄り勝サンニ行ク。返電シタガ今日ハ外出スルノデ十三日御目ニカ、ルトノコト スグ引返シ局ニ行キ明日ノ拂下打合セヲナシ模型ノ見積リヲ依頼サレテ鳥飼ニ帰ル 一時半電話アリ七時向島ニテ會フコトヲ約ス 飛行協會ニテ徳永氏ニ會ヒ東西航空会ノコト及將來ノコトヲ話シ、後チオットライカルス商会ニ行ク 稲垣君ノ照介(ママ)状モ出來テ居タ 近日來ルトノコト 佐藤世太郎ニ立寄り佐野ニ會フ 両国ニ一寸立寄り車ニテ渡辺氏ヲ訪問 丁度氏ノ帰宅サレタ處デアッタ自動車ボデーノコト滑走艇ノコト朝日モーターボートノコト等打合セテ七時言問ニ行ク 待ッテ居タ 徒歩ニテ両国ソヒニ來リ食事 家借りタトノコト 家賃廿五円 百円渡し居ク 明後日見ニ行クコトトス

▲▼108ページ▲▼ 大正12(1923)年4月12日(木)

天気 風雨曇

雨降ラザレバ風吹ク

八時半起床 工場ニ行キカーチス新造組立上ノ番號付ケル件ヲ打合セ、安岡免状ノ

件本人昨夜出發セシトノコトニ神戸へ打電ス

S.P.A. 略圖自カラ引イテトレースニ出ス

後チ朝日ノモータボート、広島山本十一氏ノ滑走艇、局ノ模型修理見積書ヲ書キ、
三時半ヨリ千葉ニ行ク 白戸ニテ東西航空会今後ノ覺書及格納庫規定ナドヲ作り九
時三十分ノ電車ニテ歸ル

兄ヨリ井上ダメ 外ニ都合出來ルカトノ電報アリ

芝浜松町發タイトニテリヨゴク八時タツムカイタノムトノ電報來ル 変ナモノダガ多分
池洲ノ女中ラシイガ不思議ナコトダ

今日川辺君ニ念ノ爲メ合野氏ノ方行ツテ貰フ

天氣 曇リ晴

▲▼119ページ▲▼ 大正12(1923)年4月23日(月)

天氣 曇後晴

八時半頃西店ニ行ク 今日ハ大變ヨク話シタ 結局二万二千円ヲ何ニカシテ呉レ、バア
トハ先ヅ、ト云フ様ナ意向デアッタ 後チ中山氏ニ會ヒ總會ノ打合セヲナシ川西ニ行
ク 後藤氏ニ坂東氏ノコトヲ聞ク 上京中トノコトニ歸ル 夕食後鵜飼ト兄ニ拂下ノ件
ノ打合セヲナシ八時五十分ニテ出發ス

▲▼120ページ▲▼ 大正12(1923)年4月24日(火)

天氣 曇リ

九時半歸京 坂東氏ヲ訪ネタガ不在

朝日ニ電話シ、二時頃相羽氏ニ會フ 金ノ件小口ノ分ヲ話ス 三沢氏ニ紹介呉レル 三
沢氏電話スル 今カラ出懸ケルカラ明朝トノコトニ約束シオケレルス

知覽君ニ會フ 午後再ビ知覽寺島氏ト會フ 廿七日來場スル由打合セテ秋田、佐藤ニ
立寄り川辺見舞ニ行ク 不在 アキレテスグ帰宅 七時二十分發車ニテ

▲▼121ページ▲▼ 大正12(1923)年4月25日(水)

天気 雨

八時十四分ニテ上京 三沢氏訪問 宜シイ多分出來ルトノコトニ依頼シヤット安心シタ
鳥飼ニ行キ協会ニ徳永氏ヲ訪問 定期予算ヲ聞カレテ大分手間取ル 大辻、其他ノコ
トヲ依頼シ後チ 埴鳥飼ニテ坂東氏ニ會ヒ買収其他ノ件ヲ打合依頼 共三局ニ行ク。
模型修理ノ注文ヲ引受ケ児玉少佐ト少時談ジ朝日早く極マラネバ春海号出ナイコト
ヲ感ジタノデ社ニ行ク 白戸帰ツタ後デアッタ 中島式整備費春海號ノ内千円受取り
米代ヲ支拂ヒ、秋田ニ行ク 菱伊氏ト会見 北海道ノ件總會ノ件打合セテ両国ニ歸リ
ソレヨリ車ニテ寺島ニ行ク 十一時床ニツク

▲▼122ページ▲▼ 大正12(1923)年4月26日(木)

天気 晴

晝前迄余リタイクツナノデ又酒ヲノム 三時頃出カケル
鳥飼ト三沢氏ニ電話スル 三沢氏第一信託ノ方ハ六ツケ敷ガ君ノコトダカラ相羽ト相
談シテ何ントカスルトノコトデアッタ。ソレヲ頼ミニ四時ニテ帰宅後佐野加藤矢野、佐藤
等ト打合セ 兎三角金工部ニテ六名出スコトニシタ
尚佐野明日大坂へ出發セシムベクソレゾレ打合セラナス 十時過ギ河村氏來 吉診察ヲ
受ケル 十一時床ニツク

▲▼136ページ▲▼ 大正12(1923)年5月9日(水)

六時半起床 朝食後八時車ニテ東京駅ニ行ク 名刺ヲ出シテ安藤氏ヲ見付ケタガ分
ラズ 聞ケバ船ハ明日ニナツタトノコト 鳥飼ニ行ク

天気 曇リ

▲▼138ページ▲▼ 大正12(1923)年5月11日(金)

天気 晴

朝床ノ内ニテ支拂予算ヲ作ル 六時頃大雷雨ニ又床ニモグル 七時日ガサスノデ起床
朝食後瀬尾ノ見積リ下書キヲ作ル

渡辺氏ヲ訪フ 今日午後來ルトノコト 川辺ニ會ヒ打合セヲシテ十一時ニテ帰宅。後仕事ノ準備(ママ)序ニツイテ研究 明日ヨリ二名増スコトトス

夕方河村氏來 妻入院ノ打合セヲナス 佐野ト夕食ヲ共ニス

本記事八十二日分

▲▼139ページ▲▼ 大正12(1923)年5月12日(土)

天気 晴

朝杉本ヲ病院ニ訪ヒ六月出場出來ルヤ否ヤヲ確メル 醫師モ多分ヨカロウトノコトデアッタ 帰ルト丁度大蔵ガ東京へ飛び出ス處デアッタ 瀬尾ノ見積リヲ書カセ渡辺氏ト自動車ノ打合セヲナス 晝後大蔵帰ル

加地氏紹介ノ谷口氏佐野ト來 工場ヲ見経営上ノ有益ナル話アリ 晝食後帰ル 式三日内ニ金ノ方加地氏へ返事スルトノコト 川辺デ注文品ヲ書キ出ス スポーツ發動機廻ス 夕方漸ク調子ヨクナル

宮本組ノ爲替手形一枚紛失 佐野ニ渡シタ分明日スナオニ金ヲ呉レバヨイガ心配ダ 宮本帰ッタ力聞合セノ打電ス

本記事八十三日分

▲▼140ページ▲▼ 大正12(1923)年5月13日(日)

五時半起床 白戸ニ行キ契約ノ打合セヲナシ九時帰宅 山崎不都合ヨリニ対シ待命ヲ命ズ 仕事及練習ノ打合セヲナシ上京 新橋駅ニテ知覧、寺島氏ト會見 共ニ寺島へ行ク 旅費ヲ給シ局ニ行ク 拂下打合セ 白戸ト共ニ赤峯氏ノ意見ヲ聞キテ鳥飼ニ立寄ル 宮本組ニ行キ十五日期日ノ分ニ対スル金ニツキ間違イナキコトヲ打合セ朝日ニ行ク 禿氏其他ト會見 安藤氏ハ大變飛行機ノ見送りヲ嬉(ママ)ンダトノコトデアッタ 大朝ノ方へ契約ノコトニツキスグニ云ツテヤッタトノコト 禿氏氏ヨリ大体無條件契約ノ話シヲシタラシイ 白戸ハ何ニヲスルノカ云フノカ譯ガ分ラナイ。

川辺散歩ニ出テ不在 佐藤へ挨拶ニ立寄りテ向島ニ行ク 父ト云フ人ニ初メテ會フ 伊勢ノ叔父ノ様ナ感じノスル人ダ

▲▼141ページ▲▼ 大正12(1923)年5月14日(月)

天気 晴

七時五十分ニテ上京 原氏ニ電話シテ會見時間ヲ打合セ鳥飼ニ行ク 桑原ヨリ現金受

取ル。ヤット安心シタ 菱伊氏ト募集及万年木ノ件打合せ 原氏ト日本ベニヤ会社ト提携ノ件打合せ想(ママ)談 イスパノ三百ニツキセルフレザー三菱三行ク 東京駅ニテ晝食後原氏ト分レ朝日新聞ニ行ク ゲオルギーニ打電 航空局ニ行ク 拂下ノ事検査ノコト一二打合せ病院ニ行ク 三時半今漸ク室ニ這入ツタバカリダトノコト 六時過ギ追手續キヤナニカト打合せテ帰ル 七時十五分向島ニツク 食事シテ終列車ニテ帰ル

▲▼142ページ▲▼ 大正12(1923)年5月15日(火)

天気 曇後晴

佐野留都(ママ)ヲシテ呉レル 加藤上京ス

朝渡辺氏來 一寸會ヒ十二時ノ電車デ向島ニ行ク 鵜飼ト一所ニナル 東西航空會ノ計畫書ヲ作り二時間位デ出來ル
夜帰ル予定ヲツヒニ泊ル

▲▼143ページ▲▼ 大正12(1923)年5月16日(水)

天気 曇雨

五時車ニテ向島ヨリ電車ニテ帰ル 六時半帰宅 少シ眠ル 昨夜ハ氣ニナツテホトンド眠レナカッタノデ眠カッタ 九時工場ニ出テ自動車ノ打合せヲナシ後上京 朝日ニ計畫書ヲ出シ金貳百元受取ル

知覽君ニ會ヒ航空部ノ狀況ヲ聞ク 高木氏ニ奉天ノ見積リヲナス。山本氏來 菱伊ニモ會見打合せヲナス

原氏田辺氏來 開花ニテ會食 太ニノム 兎三角提携シテヤルコトニナル

▲▼144ページ▲▼ 大正12(1923)年5月17日(木)

天気 曇リ雨

七時十分ニテ上京 佐藤ヨリ銀行ヘ聞ク マダ來テナイガ一両日中ニツクトノコト二千五百円ノ小切手ヲ書イテ佐藤ヨリ五百円借り局ニ行ク スデ二十時デアッタ 知覽ニ會ヒ精工舎ヘ行ツテ貰フ 貸下ノ手續キダケヲ終リ十一時四十分丸万ニ着 大越ト花ノ丈ト會見 ドウシテモ離婚ヲ主張シテ居タガ今一度想(ママ)談シテ貰フコトニ余地ヲノコシテ分レ川辺君ヲ訪問 書類ヲ引渡シ鳥飼ニ帰ル 原氏ト同道 日本ベニヤニ行ク工場ヲ見セテ貰ヒ万年木ノコトモ聞ク 帰途電車内ニテ往キニ手カバヲヲ忘レタコトヲ思ヒ出シ有楽町駅ニテ電話デ聞合セルト幸ニアッタノデ取寄セテ貰フコトトス
八時ニテ帰ル

▲▼145ページ▲▼ 大正12(1923)年5月18日(金)

天気 晴

久シ振リノ上天氣 暖カデアッタ

眠カッタガ五時起床 佐野ニ行キ打合せヲナシ

六時四十分ニテ上京 佐藤ニテ爲替着ノコトヲ聞キ安心 秋田ニテ現金貳百円ヲ借り

アトヨリ七百円ノ小切手ヲ持タセテヤル 局ニテ拂貸下ノ手續キヲナシ所沢ニ行ク 国

分寺ニテ晝食 白戸ト一所ニナル 上倉ヘ一任シ各務ヶ原分ハ五平君ニ會ッタノデ頼ン

デ支那ニ行キ大塚大尉不在ニテ名刺ヲ預ケテ佐藤氏ト共ニ帰ル 池袋ヨリ大塚ニ出病

院ニ立寄り六時半兩國着 向島ニ行キ終列車ニテ帰ル

十時頃金原中尉ニ上原少将ニ面會ス 内田サン來客ニテ其意ヲ得ズ

▲▼169ページ▲▼ 大正12(1923)年6月10日(日)

天気 曇リ

午前練習アリ 鵜飼ソ式 大辻中島式滑走ヲナス

本日ヨリ全員出場ス 大谷二百整備ヲ手傳フ

白戸來ル予定ノ處ツヒニ來ラズ

午後渡辺氏來 同氏ノ助言ニテ館山灣遊覽滑走艇ノ願書ヲ作ル

▲▼178ページ▲▼ 大正12(1923)年6月19日(火)

天気 曇リ

各方面募集ノ爲メ十数軒廻ル 一文モ拂込ナシ

夜玉造リノ宅ニ行キ報告ス 初メノ内ハ大變工合ガヨカッタガ拂込金ヲ全部持参スルコ

トガ中山、兄ノ都合上出來ナイノデ手加減ヲシタノヲ發見サレツヒニ御氣(ママ)嫌ヲ損

ズ 兎ニ角皆持ッテ來イトノコトデアッタガ相談ノ上ト返シテ一先ヅ帰ル

▲▼179ページ▲▼ 大正12(1923)年6月20日(水)

天気 雨

中山氏ヲ七時前訪問 三浦氏宅ニ行キ打合せ兄ト再ビ病院ニテ三浦兄自分中山氏ト
會見ノ上小切手ヲ書イテ三人ニテ自動車ニテ佐渡島ニ行ク 不在 晝頃帰ラル 自分
一人會談 大変ニシカラレル 兎ニ角皆持ッテ來イトノコト 一先ヅ病院ニ引上ゲタ方
自分一人行ク ヤハリ出來ナイノデ受付ケラレズ如何トモスベナク後午後藤阪東氏ニ會
フ 川西ノ模様モ聞ク

▲▼180ページ▲▼ 大正12(1923)年6月21日(木)

天気 雨

浅野主人及乾氏ニ會フ 浜谷氏トノコト
父ヨリ三百円借入竹島ヘ利子支拂手形書替中山氏ヲ訪問 アトノコトヲ頼ム
手紙ヲ佐渡島主人宛ニ書ク 宅ヨリ電報來 同封 兄ニ行ッテ貰フ

▲▼181ページ▲▼ 大正12(1923)年6月22日(金)

天気 雨

十時鳥飼着 セールフレザーヘ三百ノ件 日本通商ヘ川辺計器ノコト 日本計器ヘ同ジ
計器ノ件
佐藤喜三郎、高木東太郎其他電話
知覽君ニ會フ 明日日本ベニヤニ行クコトヲ約束ス 二時半出テ帰宅 トラック完成至
急ノ爲メ大車輪 自分モ大ニ氣ヲモム

▲▼182ページ▲▼ 大正12(1923)年6月23日(土)

天気 曇リ晴

秋田、佐藤、銀行、大川ニ立寄り鳥飼ニテ知覽ト會フ 高山原氏トモ會見 明日ノ打
合せヲナシ宮本組ニ立寄ル
知覽原ト銀ブラヲナシ新橋ニテ晚イ晝食ヲ取り駅前ニテ寺島氏ニ會フ 百円渡ス 川
辺ヘ田代ノ件ニツキ手金銀行供託ニ差支ナキ電報ヲ打ッ

▲▼183ページ▲▼ 大正12(1923)年6月24日(日)

天気 晴

トラックタ方漸ク完成ス ソレ迄工場取カタツヤトラックノ仕上ニ努力 大ニツカレタ
夜賄來 金支拂が大分トニコウテ居ルノデ品物ヲヨコサナクナツタトノコト 明日幾分
ヲ支拂ツテヤルコトニス

◆▼184ページ◆▼ 大正12(1923)年6月25日(月)

天気 晴後雨

朝カラ掃除ヲサセ晝食ノ差圖ヲナシ待ツ

十一時半頃漸ク來 樋口中尉伊藤中尉外二名。晝食後樋口伊藤両氏ト會談数刻
アトノ人ハ佐藤高山等ト仕事ヲナス

高等官三四時ニテ他ハ五時ニテ帰京ス 第一印象(ママ)ハヨサソウデアッタ

◆▼185ページ◆▼ 大正12(1923)年6月26日(火)

天気 晴

十時ニテ上京 萬歳ニテ山尾、渡辺氏ト共ニアトノ自動車注文主ニ會ッテ呉レトノコト
ニ一所ニ行ク 後チ局ニ行キ朝日ニテ村山氏ト會シ鵜飼大谷ト一所ニナリ鳥飼ニ歸リ、
高木田代氏ト會見ス

宮本組ヨリ再三呼ビニ來リ手形ノ話ヲツケ後升明日五百円ノコトヲ頼ミ内五十円ヲ
借受ケ鵜飼ニ持タセテヤル 七時夕食ヲ三人デ共ニス アマリ腹ガヘッテ居タノデ氣持
チ悪シクナル 九時ニテ帰宅

◆▼186ページ◆▼ 大正12(1923)年6月27日(水)

天気 曇リ

終日在所 原氏夫妻石氏氏來 晝食ヲ共ニス 石氏氏ハ初メテダガ面白イ人ダ 誰ニ
モスグ供(ママ)達ノ様ナ感ジヲ與エル人ダ

◆▼187ページ◆▼ 大正12(1923)年6月28日(木)

天気 晴

日野ノパシユートヲヤル 松本ヨリ活動ヲ取リニ來タ 終日ゴタゝスル

吉十時ノ汽車ニテ有坂看護婦付添ヒ分院へ入院セシム 今日大變ヨイ様デアッタ 熱ハ
三十六度八分 入院後八度八分ニナツタトノコト

徳次ハ今日明日ガ一番ダロウ

夜十時頃物療ノ先生來 川辺君處ニテ會見ス 看護婦十時半頃帰り來ル

▲▼190ページ▲▼ 7月

- 会社成立ニ努力スルコト
- 奉天仕事取ルコト
- 金隔(ママ)ヲハカルコト
- 陸軍仕事着手ノコト
- 自動車急グコト

▲▼191ページ▲▼ 大正12(1923)年7月1日(日)

天気 曇リ

十時ノ電車ニテ帰リスグ仕度ヲサセ信太郎ヲ連レ一時三十分ニテ上京 病院ニ六時迄居ル 夕食ヲ共ニシ七時二十分ニテ帰ル

▲▼192ページ▲▼ 大正12(1923)年7月2日(月)

天気 曇リ

佐野ニ立寄り七時半ニテ上京 鳥飼ニテ知覽ヲ待チ合セ知覽航空部へ出張 自分宮本組へ行キ八日期日ノ分ノ打合セヲナス

十一時原氏來 知覽モ帰り來ル 宗里氏同道 スグ行クノモ丁度晝ニナルノデ幸樂ニテ晝食後田辺氏ヲ訪問ス 三時迄ニ急ニ横浜へ行カナクテハナクナッタトノコトデアッタノデ一時間半バカリ会谈 案ズルニ日本ベニヤモ大分苦シイト思エル ムシロ田辺氏ハ小野資本主ニ対シ自分ト佐渡島ト丁度同ジ様ナ立場ニナッテ居ルラシイ

奉天ノ仕事ニツイテ金隔(ママ)ハスルカラ奉天へ契約ニ行コウトノコトデアッタ スグ川辺へ打電ス

秋田ニテ手形ノ書替五株ノ件松本氏ノコトヲ菱伊氏ト打合セル。上野今泉ヨリ打電アリ 上野ニテ夕食ヲ共ニス

▲▼193ページ▲▼ 大正12(1923)年7月3日(火)

天気 曇後雨

七時十五分ニテ帰ル

佐野上京セシム 加藤無断上京 木部大体見積リ終ル

徳治病ヨクナル 有坂看護婦病院ヘヤル 金五十円持タセテヤル 何ンダカ内ノ中ガ淋シイトデアル

川辺ヨリ昨電ニ対シ返事來 大ニ有望トナル

出發ハ二三日見合セテ呉レトノコト

夜八時床ニツク

▲▼195ページ▲▼ 大正12(1923)年7月5日(木)

天気 晴

米ノ方ノ話モツイタノデ正午後ヨリ車ニテ向島ヘ行ク 米三升芋其他若干 四時半ツク 途中習志野ニ送ル鮮人ニ会フ

▲▼196ページ▲▼ 大正12(1923)年7月6日(金)

天気 晴

二三回ノ震動デ熟睡セズ 七時起床 九時前ニ出カケル 電車迄送ル 荒川土堤ニ鮮人ヲ焼ク煙リガ二三ヶ所 クサイ臭ト共立登ツテ居タ

十時半帰宅 大蔵立川ニ不時着 鵜飼マダ居タノデ汽車ニテ大坂ヘヤル イクスノ女中タイガ來テ居タ タ方帰ス ウルサイヤツダ

山田、内田來 ソロ、來出シタ

鈴木ヲ見舞ニ上京セシム

サイ券ニテ米五俵ヲ求メル

▲▼200ページ▲▼ 大正12(1923)年7月10日(火)

天気 晴

上天気 八時起床 プロペラノヒビキウルサカッタ

島村ニテ休ミ荒井氏ヲ待ツ 共ニ校學(ママ)ニ行ク サ式及拂下品ヲ見テ自分ハ校長、
及副官、本城大佐、徳川少佐松岡大尉菱島中尉乾曹長等ニ會見 大藏ノ経ヲ述ベル
二時入札ヨリ馬詰ト福永ニ代理サセ引取りハ大藏ニサセルコトニシ四時ニテ帰京 大學
病院ニ立寄り鳥飼及原氏ニ電話ス

原氏八時四十分ニテ町野大佐帰奉スルニツキ其前ニ會ッテハトノコトニ七時停車場デ會
フ ホテルニテ町野氏ト會見ス

九時ニテ帰ル 佐野ニ立寄ル エミ子ハシカニテ四十度以上ニ昇リ今夜泊ッテ呉レトノコ
トナリシモ能ワズ十二時帰ル

▲▼201ページ▲▼ 大正12(1923)年7月11日(水)

天気 晴風

午前八時起床 朝食後工場

十二時出テ佐野宅ニ立寄り小供ヲ見ル 九度八分アッタ

一時二十分ニテ上京 大急ギデ局ニ行ク 荒井大尉今日モ所沢ヘ行ッテ不在トノコト
何ンコトカツマラナカッタ

課長、阿部大尉ト會見、富士見町ニ田辺氏ヲ訪問 四時頃帰ル 夕食後井上氏ヲ訪
問 五時一時間バカリ會談。永峯少佐ヘノ手紙ヲ依頼シ帰ル 万世ヨリ自動車ニテ向
島ヘ寄り終列車ニテ帰ル

▲▼203ページ▲▼ 大正12(1923)年7月13日(金)

天気 曇雨

上京 山田ニテ書替ヲ乞ヒ桜井、斎藤ニ立寄り鳥飼局ニ行ク 鳥飼ニ帰り午後知覧高

山ト見積書ノ変更ヲナシ明日書替ヘ月曜日提出ノコトニ決定 夜七時迄カヽル 吉ヨリ
電話アリ八時頃行ク 金ガナクナツタトノコト 五円置イテ向島ニ行ク

▲▼204ページ▲▼ 大正12(1923)年7月14日(土)

天気 曇リ雨

九時ニテ帰宅 職工二日分 所員十月ヨリ三十円ニテ勘定ヲサセ諸支拂ヒヲナス

▲▼205ページ▲▼ 大正12(1923)年7月15日(日)

天気 曇雨

終日床ニツク 漸(ママ)時ヨクナル

母ハ徳治ヲ連レテ病院ニ行ク お市ト信太郎ト自分三人デ淋シイ感ジガヒシバト身ニ
セマツタ

前田先生來 退院ノ件想(ママ)談ス

▲▼206ページ▲▼ 大正12(1923)年7月16日(月)

天気 雨

工場組織変更ノ準備ヲナス 午後休業ス

午後エミ子ヲ見ニ行キ向島ニ行ク 夜八時帰ル

佐野上京セシム

今日ツクゞ、所員ノ給料ト云フコトニ心ヲ引カレタ 何ントカ方法ヲ講ジナケレバナラナ
イ

▲▼207ページ▲▼ 大正12(1923)年7月17日(火)

天気 雨

朝写真現像 前田サンノ手紙來ルノヲ待ツテ上京 佐藤へ寄ル □ハガリ申込書ヲ書カ
セル予定ノ處出來ズ。今塩原ノ方が差押エニ會ツテ居ルトノコトデアッタ 桜井ニ立寄り
書替ヲナシ鳥飼ニテ知覧、原ト會見 自分自分余リ上京セズ方針ヲ話シ連署上ノ打
合セヲナス 吉ヨリ電話來タトノコト 局ニ行ク 見積書ヲ児玉サンニ見セ早川ニ預ケル。
吉村ノ整備費受取ル

宮本ニテ明日ノ金受取り病院ニ行ク 六時頃帰リカケタ時看護婦ガ急ニ国へ帰ルコトニ
ナツタトノコトデ有坂サンヲ頼ミニ行ク 九時ニテ帰ル 佐野ニ立寄り明日ノ打合せヲナ
シテ帰ル

湯ニ入り床ニツク 十二時

▲▼212ページ▲▼ 大正12(1923)年7月22日(日)

天気 晴時々雨

久シ振リノ天気ト日曜デ來客ガ多カッタ

東西航空会契約書ニツキ來テ呉レトノコトニ佐野ヲヤル

三満津カラヨットヲ取リニ來タ

寺島氏塗料屋ヲ連レテ來場 事ム所ノコトニツイテ話シガアッタ

秋田菱伊氏ニ(ママ)來 工場ヲ一渡リ見テスグ帰ル 航空部ノ曾原君家族連レデ來
親類二人ト力飛行機ニ乗リタイト云フノデ汝ガ上ゲテ來タノデ大急ギデ一人ダケ乗
セル

▲▼223ページ▲▼ 大正12(1923)年8月1日(水)

天気 晴

八時廿分着 鳥飼ニテ佐野ト會ヒ會計狀態ヲ聞キ局ニ行ク

田辺、知覧、橋本、原、自分ト會食 種々不在中ノ經過ヲ聞キ將來ヲ話ス 五時ニテ
帰宅 佐野ニ命ジテ居リタ見積リヤラナッタトノコト 明日ハ早クカラヤラネバナラヌ

▲▼224ページ▲▼ 大正12(1923)年8月2日(木)

天気 晴

加藤ニ大体書キ出サセ見積書ヲ作ル

一時二十分ニテ上京 社ニ久松氏ヲ訪フ

知覧高山ニ會ヒ給料ヲ渡し、安田中尉ノコトヲ議ス

朝日ニ行ク前山尾氏トエンパイヤニ行ク 向島ニ立寄り十一時ニテ帰ル

川辺君帰津ヤリトノコト 少時話シテ帰宅 一時床ニツク

◆▼225ページ◆▼ 大正12(1923)年8月3日(金)

天気 晴

鳥飼、局、児玉少佐訪問 知覧會見

朝日、電話 金ノ件

九時ニテ帰宅 入浴後病人カラ川辺ノコト話シアリ アマリウルサイノデ少シ怒タタラ

(ママ)、ソレカラ泣キ出シテ止マラズ一時過ギ漸ク眠ル

◆▼226ページ◆▼ 大正12(1923)年8月4日(土)

天気 晴

午後三時二十分ニテ上京 秋田宅へ佐藤氏ニ來テ貰フ 菱伊、佐野モ來 現状及將來

ヲ話シ最後ノ案ヲ出ス。第二案ニツキ秋田氏ハサンセイ 佐藤ハ絶対返(ママ)對ノ様子

兎ニ角今度ノ土曜日ニ大坂へ行クコトニ決定ス 東京泊リ

◆▼227ページ◆▼ 大正12(1923)年8月5日(日)

天気 晴

一時五十分ニテ帰ル タ立ノ様ナ雨 津田沼ニ降リルト知覧君ガ立ッテ居タ 同ジ氣

(ママ)車デ來タノデアッタ。共ニ帰ル 菱伊氏モ來 陸軍見積リノ件ニツキ知覧心配シ

テ來ル 明日原價表ヲ作り安田中尉ニ會ッテヨク領(ママ)解ヲ得ルコトニ努メルコトトス

菱伊氏ト昨日ノ件ニツキ續行 十二日ノ打合せヲナス

夜明日ノ原價表ノ票ヲ引ク 十時迄カゝル 川辺君ニ会社内要(ママ)ヲ話シ神谷傳兵

衛ヲ聞キ合セヲ依頼ス

◆▼228ページ◆▼ 大正12(1923)年8月6日(月)

天気 晴

午前七時三十分八時十四分ニテ上京 鳥飼ニテ知覧高山ト陸軍見積リ原價表ヲ作

ル 六時頃終ル

佐野上京ス

宮本組九日ノ分ニ対シ又三千式百余ノ手形書イテ呉レトノコトニ絶対謝絶ス 後チ小切手ヲ書イテ來タノデ此分ダケトノコトデ書ク

山本氏來 富士屋ホテル、金ノ件、等ニツキ話アリ 七時二十分ニ乗レズ林亭ニテ夕食八時ニテ帰ル

▲▼229ページ▲▼ 大正12(1923)年8月7日(火)

天気 晴

六時半起床 食後工場ニ行ク 白戸へ行ク必要アリサルムソシテ行ク。伊香保へ行ッテ不在

サ式ノ整備ヲ見テ帰ル

十一時ニテ上京 社ニ行キ野田、久松、氏ト打合セヲナシ明日長舉氏來ルトノコトニ金依頼シテ帰ル 鳥飼ニ立寄リスグ帰宅 後定期飛行書類ヲ作ル

病人今日ハ馬鹿ニコーフンシテ始末ガ悪ルカッタ

▲▼234ページ▲▼ 大正12(1923)年8月12日(日)

天気 晴

九時着 スグ中山氏 席ニ行ク 兄ヲ呼び打合セ都軒ニテ会社竹島若主人來 佐渡島へ行クニツキ大体ノ領(マ)解ヲ得テ電話シタ處洲本へ行ッテ不在トノコト

住吉へ行クコトトシテ中山氏ト分レ佐藤氏ノ用件デニ軒バカリ廻リ魚崎ノ中山氏ニ行ク 夜十時頃迄ツヒニ帰ラズ 佐藤氏ニ一泊シテ貰フコトトシテ中山氏宅ニ泊ル

▲▼235ページ▲▼ 大正12(1923)年8月13日(月)

天気 晴

三人ニテ中山氏店ニ会合 佐渡島へ電話スル 帰ッテ居ルトノコト 行キテ種々協議 自分ノ決心ノ程モ最後ニ話シタ處大ニ領(ママ)解ヲ得 佐渡島モ以前ノ様ナコトハナクヨクワカッタ話デアッタ 晝食後中山氏ト會見 西店ハ兎ニ角三万円ハ振替ヘルカラ出來ダケデ作ッタラヨカロウトノ説デアッタガ中山氏ハソレハトテモダメダトノコトニ自分ハ中間説ヲ出シ廿五万円トシテ不足分ハ各役員ガ引受ケタコトニシテハ如何ト云フコトデ一散ヲ見タ 四時佐藤東京ニ帰ル タ方竹島ニ行キ状況ヲ報告シテ帰ル

▲▼236ページ▲▼ 大正12(1923)年8月14日(火)

天気 晴

朝練兵場ニ行ク 大蔵無事十一時過ギ到着 乗池大蔵中君ト晝食ニ行キ中山氏訪問 尚佐渡島、竹島ヲ頼ンデ五万ト三万ヲ書イテ貰ワネバ登記出來ナイトノコトニ中山氏二三日中ニ行ッテ頼ムトノコトニテ自分ハ今日帰ルコトトシ佐渡島ニ行ク 此前ノ時ト違ヒ非常ニヨク領(ママ)解シテ呉レテヨカッタ

工場ニ行キ兄ヨリ旅費ヲ借り受ケ帰宅 七時五十分ニテ出發ス

▲▼237ページ▲▼ 大正12(1923)年8月15日(水)

天気 晴

九時二十分東京駅着 鳥飼ニテ知覽ニ會フ 明日谷古宇氏ト會合ノ約束シテ帰ル 夜九時ニテ帰宅

▲▼238ページ▲▼ 大正12(1923)年8月16日(木)

天気 晴

佐野ニ立寄り七時十分ニテ上京 洲崎ニツク 九時四十二分大蔵大坂出發 十二時二十五分洲崎無事着

山尾氏ト電気自動車へ行ク 不在ニテソコデ分レ鳥飼ニテ知覽ト會フ。局ニ行ク 六時半辻谷古宇氏ヲ待ッタガ來ラズ 佐藤ニ立寄ル 大分困ッテ居ル様子デアッタ 爲替手形ヲ渡シテ帰ル

▲▼239ページ▲▼ 大正12(1923)年8月17日(金)

天気 晴

田辺氏ト會フ目的ニテ上京 秋田ニ立寄り大坂ノ話シヲナシ二三買物ヲナス
鳥飼ニテ知覧高山ト會ヒ見積書ヲ見今日中ニ出サセ、田辺氏ヲ訪問ス 來月中ニ圖面
到着ノ予定トノ事 然ル上六最(ママ)非相談スルトノコト 氏ハ多少金ヲ出シテ欲シイ様
子デアッタ 大体模様モ分ツタノデ帰ル 五時五十分ニテ帰ル

▲▼240ページ▲▼ 大正12(1923)年8月18日(土)

天気 雨後曇

朝六時頃肝然トシタ雨デヨイ氣持チデアッタ 起床前頭痛 起床後ハ何ントモナカッタ
工場ニ行キ元志ヲ小栗宗里ニヤル。外ニ少シ買物
九時半ヨリ車ニテ稲毛ニ川上氏ヲ訪問 場馬長官ト会見ノコトヲ依頼ス 会談一時間
快ヨイ答ヲ得テ白戸ニ行ク マダ伊香保ヨリ帰ッテ居ナカッタ。晝食ヲ馳走ニナリ千葉
病院ヲタノシデ帰ル
今日モ何シテマトマッタ考ヘガウカバナカッタ
夕方頭痛ガシタ 早く床ニツク

▲▼241ページ▲▼ 大正12(1923)年8月19日(日)

天気 曇リ

終日工場 自動車型ニツキ数日佐藤出勤セズ ツヒニ職人ニマカセル
仕事ノ予定表ヲ作ル
午後醫師來 診察ヲ受ケル ドウモジン藏(ママ)ラシイノデレントゲンヲカケタ上手術ス
ル必要アルカモ知レヌトノコトデ明日連テ行ク約速(ママ)ナス
機械カンナヲ修理ス

▲▼242ページ▲▼ 大正12(1923)年8月20日(月)

天気 晴

今日ハ児玉少佐ヲ訪問ノ予定ニテ朝工場現在員表及給料借金ノ有高等ヲ取調べル
昨日直シタカンナ成績非常ニヨシ
十一時自動車ニテ千葉病院ニ行ク 平次ヤンヨリ五十円借りル。田中院長診察ス ヤハ
リジンゾウノ血石カ或ハ結格(ママ)菌ノカタマリラシイトノコトデレントゲンヲカケタ上、
手術ノ必要アリトノコトデ入院サセル。信太郎出テ來ル時ニ泣イテ居タトノコトニ上京
ヲヤメテレントゲンヲ見テ白戸ニ札ニ行キ五時過ぎ帰宅ス
夕食川辺君ト話シナガラ終ル

▲▼243ページ▲▼ 大正12(1923)年8月21日(火)

天気 曇リ

上京 佐藤ニ手紙ヲ書キ鳥飼ニテ知覧ト會フ 明日所沢ニ行ク由 局ニ行キ宮本ニテ金
ノ話シヲナス 主人不在
田辺、原、模型ヲ持ッテ來 田辺氏トアンリオニツキ話アリ 結局四五万円出シテ欲シ
イトノコトデアッタ

▲▼244ページ▲▼ 大正12(1923)年8月22日(水)

天気 曇後雨

九時十二分ニテ帰宅 手紙ヲ見工場ヲ見テ晝食 十二時千葉ニ行ク 電車ノ中ヨリ雨
降ル

白戸へ先キニ行ク 乗池十三ナル女子ヲペラデ殺シタトノコト 重ネ々々ノ椿事デ氣
ノ毒デアッタ。白戸ハ本所ノ事ニツキ又心配シテ呉レテ居タ。三時千葉病院ニテ院長ニ
會フ 明後日手術スルコトニ取極メテ三時二十分ニテ上京 七時児玉氏宅ニ行ク 低利
資金ノ件話ス スグ局當(ママ)ニ願書ヲ出シテ見ヨトノコトデアッタ 八時過ギ迫種々
話シテ帰ル 十時ニテ帰宅 金太郎ガ來テ居タ

▲▼246ページ▲▼ 大正12(1923)年8月24日(金)

天気 晴

朝五時頃目をさまし今日は手術の日でなんだかへんな氣がしてたまらなかつた 九時
頃主人来て昨夜ねつが出たので先生もいやならいつでも宜しいとの事であつたがどうせ
一度はしなくてはならぬと思ひ思い切てする事にした 思ひの外らくにすんだ 白戸
初子さん来てくれた 主人夕方帰る
夜からづいぶんくるしくつて困つた

▲▼250ページ▲▼ 大正12(1923)年8月28日(火)

天気 晴

暑イ苦シイ日デアッタ 頭ガ変ニ痛ンデ仕方ガナカッタ 七時過ギ起ルトスグ回診ガア
ツタ 後チ白戸ニ二寸行キ十時二十分ノ電車ニテ帰ル 車中川上氏ニ會フ 帰宅 スグ
床ニツク予定ノ處奉天ノ鶴岡氏來 三時頃帰ル 床ニツク間モナク山尾氏來 夕方帰
ル
佐野東京へ金策ニヤル

▲▼252ページ▲▼ 大正12(1923)年8月30日(木)

天気 晴

朝上京 洲崎ニテ大蔵機ノ帰リヲ待ツ 十一時途中三方ヶ原ニ着陸ノ上帰着ス
鳥飼ニ行キ知覧、高山ト会ヒ三日契約ノ予定 明日休明後日海軍省及航空部ニ行ク
約束ヲシテ帰ル 佐藤ニテ百円借り受ケル 大蔵兄ヨリ五十円向島ニ行見舞トシテ持
ッテ來テ呉レタ
向島ニ行キ泊ル

▲▼253ページ▲▼ 大正12(1923)年8月31日(金)

天気 晴

十時頃帰宅 工場ニテ打合セ後チ千葉ニ行ク 支拂ヲシテ夜帰ル 泊ル

▲▼254ページ▲▼ 9月

- ・陸軍ノ仕事初メルコト
- ・サ式朝日二台完成ノコト

・自動車完成ノコト

▲▼255ページ▲▼ 大正12(1923)年9月1日(土)

天気 雨後晴

二番電車ニテ帰宅 着替ヲナシ佐野ニテ打合セシテ七時五十分ニテ上京 車中徳永氏ニ会フ 雨ハゲシクナル 両国着 ドウモ行クノガイヤ氣ガシタノデ林亭ヨリ電話ヲカケル 知覽マダ來ラズトノコト 來タラ明後日ニスル様依頼シテ向島ニ行ク アンマヲ取ル丁度十二時頃大震來 ハダシノマ、飛ビ出ス 数回ノ強震ニ附近ニ到(ママ)壊家屋アリ二階家ハ二尺グライモユレテ居タガ幸ヒ南北動ニ対シ家ガ南北ニ長イ四軒長屋デアッタノデ到(ママ)レハシナカタ 一時前ノ醫師ノ庭ニ逃ゲ後チ鐘ヶ淵停車場ニウツリ夜ヲ徹ス。スオオ

本所浅草辺ハ猛火ト化シ五百米位ノ高空ヨリ土丹(ママ)板ノ大ナルモノアダカモ紙屑ノ如ク落下ス

東京全市火ノ海ト化ス 津田沼海嘯ヲオソル

▲▼256ページ▲▼ 大正12(1923)年9月2日(日)

天気 晴

五時ニギリニツ喰ツテ五時半兎ニ角一度帰宅スルコトトシテ出発 汽車通ズルトノコトニ平井ニ行ク 一時間カゝッタ 間モナク汽車ガ來タノデ乗ル 一家族バラ、ニ行所不明ノモノ其他アワレナル話シ車中ニ充ツ

津田沼着 佐野ニ寄り帰宅 之レハ又案外ナ 建築中ノ兵營ノ上ニツミ重ネタ瓦ガソノマ、乗ツテ居ルナド地震ハドコニアッタカト云フ様ナ有様デアッタ。無論工場モ無事 伊藤來 明朝善後策ノ打合セヲナシ午後千葉ニ行ク 自分ガ帰ッタノデ皆大嬉(ママ)ビデアッタ 川辺海野、金太郎ハ自分ヲサガシニ昨夜東京へ行ッタトノコト 病院ニ泊ルタバシ野外

▲▼257ページ▲▼ 大正12(1923)年9月3日(月)

天気 晴雨

昨夜尚盛シニ焼ケテ居タ 横須賀横浜モ全滅 名古屋迄汽車不通トノコト 晝佐野、加藤來 晝食ヲ取り、今後ノ方策ヲ打合セテ歸ス。夕方久松氏來 大坂へ飛バシタイトノコト 白戸ヨリガソリンヲ運ビ自分帰宅 出發準備ヲナサシム。

上京中ノモノノ中乗池、森、徳永氏來 九死ニ一生ヲ得テ歸ル 非(ママ)慘ナル話ヲ聞ク 洲崎格納庫焼ケル

▲▼258ページ▲▼ 大正12(1923)年9月4日(火)

天気 晴

上京中ノ荒木、川辺、等帰ル

▲▼259ページ▲▼ 大正12(1923)年9月5日(水)

天気 晴

米ノ購入ニツキ大ニ頭ヲナヤマス 加藤大ニ骨折ル 晝前目鼻ツイタノデ車ニテ向島へ米
三升芋其他ヲ持ッテ行ク
途中習志野ニ送ラレル鮮人ニ會フ

▲▼260ページ▲▼ 大正12(1923)年9月6日(木)

天気 晴

小傳馬町ノ山田來。イケスノチエ來
中村ノ米來ラズ 現金必要トノコト 債券ニテ加藤手ニテ五俵買入レル
今日ハ実ニイヤナ日デアッタ

▲▼261ページ▲▼ 大正12(1923)年9月7日(金)

天気 晴 シュウ雨アリ

夜十二時前後強震二回アリ

今日ハヤ、落付イタ日デアッタ

工場ノ職工ノ働キ振り思ワシカラズ 此ドサクサマギレニ一時休ンデ仕舞イタイ様ナ氣
ガシタ

ホ式二百飛ブ時ニナツテ電池ガナイトノコトニ吉村ノ百五十三テ立川へ取リニヤル準備
セシモオイルプレシヤーニ故障アリ中止ス 下志津へガソリン取リニヤッタガ之又ナシ

佐野朝上京ス

鈴木午後帰ル 佐野引越先分ラズ

寺島夕方帰ル 局ニテ米困難ノ由

▲▼262ページ▲▼ 大正12(1923)年9月8日(土)

天気 晴

加藤ニ鈴木自動車ノ運轉ヲナシ芋ト米ヲ持ッテ上京セシム 鳥飼毛布石鹼芋一俵、局
白米一俵芋二俵 航空部芋一俵 三満津芋一俵 宮本一俵 加藤一俵 河村一俵
福田一俵 朝日一俵
荻野氏來 白米トノコトニスグ八幡ヘヤル 百円持タセテヤリ三俵取アエズ受取り野菜
類ト求メテ自動車ニテ帰ル 内田來 長野ヘ帰郷スルトノコトニ廿五円内ニアッタダケ渡
ス 大変嬉(ママ)ンデ局ノ自動車ニ同乗シテ帰ッタ
後看護婦帰京シタノデ千葉ヘ行ク

▲▼263ページ▲▼ 大正12(1923)年9月9日(日)

天気 晴

十時岸ノ家。元志來 白戸ヨリタンク受取り帰宅
加藤マダ帰ラズ 佐野來場
夜アンマヲ取ル
左ノ方ノ頭痛ク困難ス

▲▼264ページ▲▼ 大正12(1923)年9月10日(月)

天気 雨

米來 發送配給ニツキ佐野ニ云ヒツケ三時頃ヨリ上京 隅田ニ泊ル
午前職工賃金支拂ニツキ一同ヲ集メ大坂ヘ人ヲヤッタ事及局、陸軍トノ關係ヲ話シ慰
撫ス

▲▼265ページ▲▼ 大正12(1923)年9月11日(火)

天気 晴

八時頃ヨリ車ニテ市内ニ行ク 慘憺タル光景ハ想像以上デアッタ 机(ママ)橋ニハ死体ガ
山ノ如クニ積重ネ非(ママ)慘ヲ極メタ
佐藤ヲ見舞ヒ鳥飼ニ行キ朝日ニ立寄り局ニ行ク 帰途社ニ立寄ル ガソリン十一函ヲ海
軍ヨリ貰フ事トル
帰途八千住ニ出テ白髪(ママ)橋ヲ渡ッテ帰ル

▲▼266ページ▲▼ 大正12(1923)年9月12日(水)

天気 晴

六時出テ帰宅 米マダ出サズ 飛行機モ出テ居ラズグ準備サセル

自家用ノ米欠乏ニ局ヨリ昨日受取ツタ金ヲ佐野ニ渡シ購入方ヲヤラセル
晝食後米運搬ノ自動車ヲ縣廳へ川辺君ニ交渉ニ行ツテ貰フ

自分飛行機ニテ杉本ニ同乗代々木ニ行ク

スグ各務ヶ原迄行クトノコトデ杉本不精不性ニ三時五分出發ス 準備ヲシテ來ナイノ
デカワイソウデハアツタガ出ス

社ニ立寄り、市街自動車ニテ雷門迄行キ押上ヨリ電車ニテ帰宅

川辺交渉無効

八時床ニツク

大坂ノ方金今日モ云ツテヤツタガ兄モ困ツテ居ル事デアロウ。今閉スベキカ、震災ニヨル
仕事ヲ見附ケ出スベキカ 後者ハ努力ニヨツテナシトゲラルベク考ヘラル

収入録

月日	摘要	金額
年月	竹島新三郎	3000－
11/10	兄ヨリ久	300－
11/11	々 々	1000－
々/12	々 喜 年末	500－
々/12	々 久 年末	3000－
12/1	々 々 稲垣洋行	2000－
11/12	々 ガソリン代	400－
12/4	々 局ノ内金トシテ	2000.00
々/5/7	竹島利子	205.88
々/4/28	明野引取り賃立替	98.62
々	第三期東山沢村坂口配當金	25－
々 々	伊藤喜 50、キン 40、久太郎 80 配當金	125－
々 々	同上伊藤久竹島賞與金	100－
5/30	比原氏ヨリ 6/20 済ミ	1000－
6/7	高橋ヨリ	2000－
6/17	兄ヨリ比原分 増資拂込ミニテ返ス	1030－
6/21	父ヨリ竹島利子	300－
7/30	大坂ヨリ兄カラ旅費	75－
9/14	々 々	20－
9/25	兄ヨリ	250－
々	姉ヨリ	50－
13/1	村田□次郎渡	150.000

410～411 ページ

支出録

月日	摘要	金額
4/初		100－
々		200－
々		50－
々		80－
4/初	東山 20 沢村 20 坂口 10 株金	1250－
5/		5－
5/		10－
5/		10－
5/30		50－
6/10		30－
6/5		10－
6/22		20－
6/30		50－
7/		15－
7/4		20－
8/2		60－
々	ダンス内金	50－
9/15		30－
9/29		80－
10/6		20－
10/17		20－
		890.000
411 ページ		
11		75.000
12		150.000
1		80.000
2		75.000
3		150.000
	合計	1420.000
		56.000
		1476.000